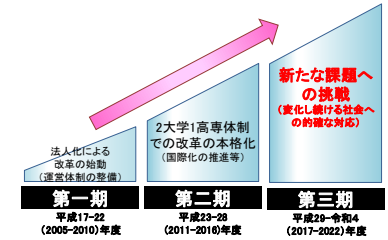


第三期中期計画

～一層の飛躍に向けた“選択と集中”による積極果敢なチャレンジの展開～

【重点方針】(計画期間:平成29(2017)年度から6年間)

- ① グローバル社会において活躍できる人材の育成、人類社会の発展に貢献する卓越した研究の推進
- ② 東京都が設立した公立大学法人としての特色を生かした教育研究を推進し、東京の未来へ貢献
- ③ 社会の要請に的確に応えるための法人運営基盤の強化



令和元(2019)年度 中期計画の変更 ～大学・法人の名称変更を機に教育研究を更に充実～

新型コロナウイルス感染症の影響等による社会の変化と大学等への影響

- ・新しい日常、働き方の新たなスタイルが浸透、感染防止対策を講じた上での活動実施
- ・あらゆる場面でデジタルシフトが加速、ICTを活用した教育手法が急速に普及
- ・先行き不透明感も背景として、社会人の学び直し機運が更に増大
- ・国際的な人の往来が制限される中、オンラインの活用により国境を越える交流も
- ・経済状況や社会的孤立からくる不安、人とのつながりを求める意識が広がる など

令和3(2021)年度の基本方針

～中期計画の達成を見通しつつ、顕在化した課題や社会変容を改革の契機とし計画を立案～

教育・研究の充実

豊かな人間性と創造性を兼ね備えた世界で活躍できる人材の育成のため、オンライン教育の活用も含め、教育研究内容の充実や環境整備を推進

社会貢献の推進

生涯現役都市の実現に向けた取組(都立大プレミアム・カレッジ、AIITシニアスタートアッププログラム等)など、都との連携強化及び教育研究成果の社会への積極的な還元

グローバル化への対応の加速

学生の留学支援や留学生の受入れの更なる拡充を推進するとともに、コロナによる社会変容を踏まえた、世界の大学等との国際連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速

組織運営基盤の強化

プレゼンス向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、コロナ後の新しい働き方を見据えた業務効率化等

東京都「未来の東京」戦略への対応

- 都立大学を、高度な人材を育成・輩出し、世界的な課題を解決するための新しい知を生み出す大学へと進化させる
 - ・トップ研究者の招聘、若手研究者への研究支援、5Gを活用した先端研究の推進、大学発ベンチャーの発掘・育成 など
 - ・大学院における英語で学位取得可能な環境、オンラインを活用した海外大学との連携型教育など、グローバルな教育環境の整備
- Society5.0時代を主体的に生き抜く力を育成するとともに、AIやIoT等を活用したものづくりを牽引する人材を育成
 - ・都立大: データサイエンス副専攻プログラムの設計・構築、高専: AIスマート工学コース・情報システム工学コース、医工連携教育・研究プロジェクトなど
- 現役世代から高齢者までの幅広い層が、スキルや知識を常にアップデートできる、新たな時代にふさわしい社会人教育を展開
 - ・都立大: プレミアム・カレッジ、産技大: 事業設計工学コース、シニアスタートアップ、高専: 情報セキュリティ等のスキルアッププログラム など

- 令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、オンライン授業や独自の緊急支援金の給付を実施
- 学部段階から法科大学院と連携した教育を行う法曹コース(法曹養成プログラム)を開設
- 機関レベル、教育課程レベル、科目レベルでアセスメント・ポリシーを策定
- 教育の質の改善に貢献が認められる優れた取組に対して、「ベスト・ティーチング・アワード」を授与し、当該取組を実施した教員の表彰制度を新設
- ボランティアセンターシンポジウム2020「首都大から都立大へ、ビジョンと共に歩み出す未来」を開催



【2019年度ベスト・ティーチング・アワード】



【ボランティアセンターシンポジウム2020】

- オンラインによる科研費説明会等を開催するとともに、研究計画調書作成支援を実施
- 英文プレスリリースや研究広報誌等により国内外に積極的な研究成果を発信
- 南大沢及び日野キャンパスに、ローカル5G環境を整備するとともに、オンラインシンポジウム「東京都立大学発『スマート東京』キックオフミーティング」を開催



【研究広報誌Miyacology】



【オンラインシンポジウム】

◆教育改革の推進、学修支援環境の整備

- ・3つ目の大学院分野横断プログラムとして、超高齢社会をテーマにした新規プログラムを開講 (1-01)
- ★感染症拡大防止策を講じて対面授業を実施するとともに、オンライン形式による授業については、円滑な授業実施・受講を支援するため、必要な機器の貸出を実施 (1-01)
- ★対面授業におけるICTの部分的活用やアクティブ・ラーニングの推進方法をFDセミナー等で共有するとともに、デジタル技術を活用して教育効果を向上させる新たな取組を実施 (1-01)
- ・学生が所属に関わらず多様な科目を文理の枠を超えて履修する仕組みについて、令和5(2023)年度からの全学共通プログラムへの導入に向けて検討 (1-01)
- ・Society5.0時代に誰もが備えるべきデータサイエンス・AI等の活用能力育成に係る教育プログラムの設計、開講準備 (1-03)

◆学生への支援体制の充実

- ★オンラインツールを活用した学生相談やキャリア支援等の実施 (1-12,1-15)
- ・授業料減免制度や博士後期課程学生へのフェローシップによる経済支援を実施 (1-06,1-13)

◆入試改革の推進 (1-16)

- ★感染状況を注視しながら入学者選抜を実施するとともに、大学入学者選抜改革に対応するため、「学力の3要素」の多面的評価を目的とした学部入試制度及び選抜方法の分析・設計、多様な選抜の充足率向上に向けた検討等を実施



【令和2年度実施FD・SDセミナー】

【第3期KPI】

★AO入試等の多様な選抜

募集人員全体の30%

第三期の方向性

「本物の考える力」を身につけるための教育を推進

◆先進的課題の研究、戦略的な研究

対応報告事項

評価結果反映事項

- ★研究センター等に対する積極的な支援を行い、平成26(2014)～28(2016)年度平均獲得額対比で外部資金獲得額150%を目指す (1-21)
- ・ローカル5G環境を活用し、高度通信社会における課題解決型研究やSociety5.0の実現に向けた社会実装が期待される研究を推進 (1-20)

◆研究力強化、将来を担う研究者の支援・育成

- ・若手研究者を中心に、戦略的に研究費を配分することで、都立大の将来を担う研究者の支援・育成を積極的に推進 (1-24)
- ・研究力の更なる向上に向け、令和3(2021)年度からトップ研究者を招へいするために必要な仕組みや研究環境等を整備 (1-25)

◆先端研究環境の整備

- ・研究機器共用センターの共用機器の拡充や協定大学との機器の相互利用等を実施 (1-29)
- ★南大沢及び日野キャンパスに整備したローカル5G環境の継続的な運用・改善を行うとともに、教育研究への更なる有効活用を図る (1-29)



【ローカル5G環境の整備イメージ】

【第3期KPI】

★研究センター外部資金獲得額

150%以上(平成26～28年度平均獲得額対比)

第三期の方向性

大都市の先端的課題解決に資する研究を推進

- 行政ニーズと研究シーズのマッチング機能強化に向け、連携事業ガイド及び研究者ガイド(2大学1高専)を作成し、東京都との連携事業を推進
- 東京都立大学オープンユニバーシティにおいて、新春スペシャル講座「Society5.0社会の到来」を開催
- 東京都立大学プレミアム・カレッジにおいて、本科に加え、2年目も引き続き学び続けられる専攻科を開設
- 国連と世界の高等教育機関等を結びつけるプログラムである国連アカデミック・インパクト(UN Academic Impact)に加盟



【国連アカデミック・インパクト(UN Academic Impact)参加証】 【オープンユニバーシティ講座】

◆東京都をはじめとした関係機関との連携推進

- ★東京都の大都市課題解決に資するため、コロナ禍においても、**社会情勢を的確に反映した施策の提言・提案**や行政ニーズと研究シーズのマッチング機能を強化し、新たな学際的プロジェクトの組成を実施(1-31)
- ★東京2020大会に向けて、オンライン形式によるイベント実施も活用しながら、これまで以上に**障がい者スポーツの理解促進と裾野拡大を図り、全ての都民がいきいきと生活、活躍できる都市の実現に貢献**(1-32)
 - ・高度金融専門人材を養成するとともに、金融工学の最先端研究を実施(1-34)

◆産学公の連携推進

- ・大学発ベンチャーの更なる創出に向けて新たな支援策を拡充、実施(1-37)
- ・多摩地域における産学公連携拠点として、日野キャンパス新棟の産学公連携スペースの活用方法について具体的な計画を策定(1-38)

◆生涯学習推進のための学修環境整備

- ★東京都立大学オープンユニバーシティにおいて、オンラインによる講座実施も活用し、**受講者ニーズを反映した都立大のプレゼンス向上につながる講座を提供**(1-40)
- ★東京都立大学プレミアム・カレッジにおいて、**本科生及び専攻科生に加え、新たに研究生を迎え、コロナ禍においても十分な教育を提供できるようカリキュラム等の充実を図りながら円滑に運営**(1-40-2)



【都立大×バリアフリー動画配信プロジェクト】



【生涯学習推進センター】

第三期の方向性

都民生活の質的向上に向けた取組の充実

【第3期KPI】

★学際的大型プロジェクト 10件以上創設
★大学発ベンチャー 累計10社設置

- 国際センター・国際課ホームページについて、受入留学生数の増加に向け、スマートフォン対応化するとともに、都立大生の留学意欲の向上に向け、留学経験者のロールモデル集を公開
- 都市外交人材育成基金及びアジア人材育成基金で受け入れた留学生が一堂に会する年次総会をオンラインで開催
- with・afterコロナのアジアの政治、経済、社会をテーマに英語で発表・討論する「Asia Leadership Program」を開催



【都市外交人材育成基金年次総会】 【Asia Leadership Program】

◆学生の海外派遣の促進・留学生受入れの拡充

- ★コロナ禍での学生の安全を第一に考えた**留学促進に向けた取組を全学的に実施**(1-43)
 - ・グローバル化等をテーマとし、**世界を舞台に各界の一線級で活躍するゲストスピーカーによる講義を実施**(1-43)
- ★社会情勢を踏まえつつ、**令和4(2022)年度までに外国人留学生を900人程度まで拡大**(1-46) **対応報告事項**

◆教育の国際化の推進

- ★博士前期課程における英語開講科目の増加や外国大学とのオンライン教育による教育連携等により、**日本語力が十分でない留学生でも学位を取得しやすい環境の整備を推進**(1-46)
 - ・英語課程の編成を前提に学部学科単位での秋入学導入について検討(1-46)



【海外に留学した先輩たちの体験談「7 STORIES」】

◆海外大学等との連携強化

- ★海外大学の学生等との議論や交流を通じ、学生の国際感覚を養うとともに、コミュニケーション力、課題発見・解決力を養成するため、コロナ禍でのオンラインの活用等も念頭に、**グローバル・コミュニケーション・キャンプ(GCC)の実施、グローバル・パートナーシップ・オブ・アジアンカレッジズ(GPAC)への参加、グローバル・ディスカッション・キャンプ(GDC)の正式開催**(1-51)
- ★**交流重点校との間で、活発な教育交流・研究交流を実施**(1-51)

第三期の方向性

国際的な教育研究環境構築の推進


【第3期KPI】

★学生の海外派遣総数 1,350人程度
★外国人留学生数 900人程度


現状

(令和2(2020)年度までの主な取組)

教育・研究

- 研究科再編で新たに設置した産業技術専攻において、産業界でイノベーションを担う人材を育成
- 令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、第1クォータは全て遠隔授業、第2クォータ以降は遠隔と対面授業併用での授業を実施
- 学生獲得に向け、リニューアルしたホームページを活用し、大学院説明会のオンライン実施やデジタル大学院案内の掲載等、多様な広報を展開
- 新たに4研究所を設立し、合計7研究所による開発型研究を推進し、研究成果を効果的に社会へ還元
- 「第2回AIIT高度専門職人材教育研究センターシンポジウム～高度専門職人材とIRの将来～」を開催 【オンラインシンポジウム】

社会貢献

- 東京都や区市町村等との連携や研修実施等を通じた産業振興や人材育成への貢献、東京商工会議所を介した中小企業からの相談事業への対応等を実施
- 「ICT分野」、「ものづくり・デザイン分野」、「起業・創業・企業新事業・事業承継分野」の最新トピックスををテーマとした公開講座「AIITフォーラム」を開催 【AIITフォーラム】
- シニアの起業支援を目的としたAIITシニアスタートアッププログラムを実施

グローバル化

- 海外大学等とのグローバルPBLを実施し、グローバル人材の育成を推進
- 学生がグローバル人材として獲得すべき能力指標を活用した教育の実施
- APEN(アジア高度専門職人材育成ネットワーク)を活用したPBL型教育の国内外への発信、アジア諸国等の大学との交流促進、連携強化

令和3(2021)年度 年度計画(産技大)

◆ 社会情勢や産業界のニーズを反映した教育体制

- ・産業技術専攻において、学位プログラム(3コース)を着実に実施し、**産業界でイノベーションを担う人材を育成(2-01)**
- ★コロナ禍において、社会人をはじめとする多様な学生が学びやすい環境の整備、**講義支援システムを活用したブレンディッド・ラーニングや遠隔授業を実施し、質の高い教育サービスを維持(2-04,2-09)**



【産業技術専攻の履修モデル(3コース体制)】

◆ 高度専門職業人としての資質を有する学生の確保

- ★**ロールモデル集、AIIT PBL Method等を活用した企業等へのアプローチ、ホームページやSNS等での積極的な情報発信(2-11)**
- ★大学院説明会について、オンライン形式の開催も活用し、年間10回の開催、参加者250名を確保(2-11)

◆ 高度専門職教育に関する教育手法等の研究及び成果の発信(2-13)

- ・AIIT高度専門職人材教育研究センターにおいて、**高度専門職人材育成に関する教育研究成果の発信、教学IR体制の構築**
- ・産技大の研究成果を社会へ還元するため、研究所を継続稼働させるとともに、開発型研究の取組を効果的に発信(2-14)

【第3期KPI】

- ★アクティブ・ラーニング導入 **全授業の8割**
- ★大学院説明会参加者数 **年間250名超**
- ★研究所 **4以上の設置・運営**

第三期の方向性

高度専門職業人育成のための教育プログラム展開、志願者獲得

◆ 社会との連携及び産業振興

- ★**政策課題に対するシンクタンク機能を発揮**し、東京都や区市町村等との連携を強化(2-15)
- ★**AIITシニアスタートアッププログラム**の実施にあたり、**東京都の区市町村と連携し、産業振興に貢献(2-17)**

◆ 社会人リカレント教育と学修コミュニティの充実

- ★**継続学修の場であるAIITフォーラム、履修証明プログラムの実施**や単位バンク制度の積極的なPRにより、学び直しの場を提供(2-18)
- ★**文部科学省の職業実践力育成プログラム(BP)に認定されたAIITシニアスタートアッププログラム**を継続開講(2-18-2)



【AIITシニアスタートアッププログラム】

第三期の方向性

産業振興への貢献、社会人の学修支援

【第3期KPI】

- ★AIITフォーラム参加者数 **年間600人程度**

◆ グローバル人材の育成及びアジア諸国等の大学との連携

- ★**グローバルPBL等の教育プログラムや学生がグローバル人材として獲得すべき能力指標**を活用した教育を実施(2-19)
- ★**アジア諸国等の大学ネットワーク**を活用し、**PBL型教育について国内外に広く発信**するとともに、オンラインも活用しながら各大学との交流を促進(2-20)



【APENと東ビサヤ州立大学との共催セミナー】

第三期の方向性

グローバルに活躍する高度専門職業人の育成

【第3期KPI】

- ★グローバル人材能力指標達成割合 **全学生の8割**

- 品川の本科教育の再編、荒川の医工連携教育・研究プロジェクトに向けた準備・周知
- 2つの職業教育プログラムを開設し、令和元(2019)年度までに両プログラムで初の修了生を輩出
- 社会人対象の情報セキュリティに関するリカレント教育の実施
- エンジニアリングデザイン教育やアクティブ・ラーニングの促進
- 特別推薦入試制度拡大に向けた調整、ホームページリニューアルやSNSを活用した積極的な広報
- 2大学1高専連携事業「第三期共同研究～専攻科Co-Labo.」の開始



【情報セキュリティ技術者育成プログラム(企業訪問の様子)】



【航空技術者育成プログラム(実習風景)】

- オリンピック・パラリンピックを見据えた「快適環境マップ」の作成・開発
- 中学生向けに「サイバーセキュリティTOKYO for Junior」や「ICT基礎Lab. for Junior」を開催
- 品川区中小企業向けの実体験型サイバーセキュリティセミナーを開催



【快適環境マップ】

- 海外体験プログラムを再編し、より実践的な内容に強化
- JABEEプログラムに対応した教育カリキュラムの実施
- 英語学習支援のための国際交流ルームの設置、専攻科の一部専門科目の英語教育導入に向けた検討



【海外体験プログラムの概要】

◆新しいものづくりを牽引する実践的技術者の育成

- ★(品川) 令和4(2022)年度の本科教育の再編の周知と新コース希望者の確保(荒川) 医工連携教育・研究プロジェクトについて、教育プログラムの開始、リカレント教育のオープンカレッジでの試行講座、共同研究の都立大健康福祉学部との実施(3-00)

- ・産業界や社会の人材ニーズを踏まえ、情報セキュリティ技術者及び航空技術者育成プログラムを着実に実施し、修了生を輩出(3-01)

- ★社会人対象の情報セキュリティに関するリカレント教育の拡充や研究生の受入れ

◆教育体制、学生支援、女子学生や意欲的な学生の確保

- ★コロナ禍ではオンラインや少人数でのグループワーク、遠隔通信ツール等も活用し、アクティブ・ラーニングの推進やデザイン思考の授業を実施(3-04)

- ・キャリアポートフォリオを活用したキャリア支援を本格実施(3-14)
- ・募集人員を4人に増大して初の品川区・荒川区との特別推薦入試の実施(3-15)
- ・女子学生や意欲ある学生確保に向け、ホームページやSNS等を活用した広報(3-16,3-17)

◆ものづくりスペシャリストの育成に資する研究活動の活性化

- ★URAと連携した外部資金獲得支援の強化、都立大や産技大との共同研究の実施(3-18,3-20)

第三期の方向性

新しいものづくりを牽引する技術者教育

【第3期KPI】

★職業教育プログラム修了生 情報50名以上・航空20名以上輩出



【コース再編概要(品川C)】



【医工連携教育・研究プロジェクト概要(荒川C)】

◆ものづくり人材の育成や技術者の学び直し等の支援

- ★若年層からの情報セキュリティ技術者教育に貢献すべく、中学生向け情報セキュリティ研修を実施(3-22)
- ★情報セキュリティ研修を都職員向けに実施、法人職員向けに検討(3-22)
- ★オープンカレッジ等の技術者支援講座の開講、品川区の中小企業対象のサイバーセキュリティ対策研修を実施(3-24)



【サイバーセキュリティTOKYO for Junior】



【ICT基礎Lab. for Junior】

第三期の方向性

ものづくり技術者支援の充実

【第3期KPI】

★オープンカレッジ技術者育成講座 倍増

◆国際的に活躍できる技術者の育成

- ・4つの教育プログラムでJABEEを受審、専攻科の一部専門科目の英語教育導入に向けた試行授業の実施(3-03,3-06,3-25,3-26)
- ★海外体験プログラム(GCP・IEP)を、新型コロナウイルス感染症にも対応できるプログラムで、70名の参加者を確保して実施(3-05,3-27)



【海外体験プログラム(プレIEP)】

第三期の方向性

グローバル化に対応できる技術者教育の推進

【第3期KPI】

★JABEE受審 令和3(2021)年度参加者年間70人程度
★海外体験プログラム

- 法人の重点事業に対する適正な進捗管理、法人予算全体の収支構造を中長期的に見据えた財政運営等
- 「GOS」関連事業の推進等のトップマネジメントの強化、大学・法人の名称変更等を契機とする各大学・高専の認知度やプレゼンスの向上の取組を実施
- コンプライアンス確保・向上のための内部統制体制を整備、都や区市町村等との連携事業を推進する組織を強化
- 2大学1高専の特性に合わせた教員人事制度の導入、将来を見据えた「選択と集中」の観点に立った教員定数設定
- 大学高専連携事業基金を活用した国際連携プログラムや共同研究等の実施、2大学1高専の新たな連携の在り方(案)の策定
- 「人材育成プログラム」に基づく法人職員のSD活動の展開、海外研修や英語研修等の実施による国際化に対応する職員の育成を推進
- 働き方改革推進PTでの議論に基づき働き方改革推進計画(案)を策定、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として在宅勤務(テレワーク)を導入、グループウェアやウェブ会議の活用
- 寄附金受付システムの導入、都立大に寄附者銘板を設置
- 各大学・高専の認知度向上のため、専門家の知見を活用した広報活動を展開
- セキュリティ組織(CSIRT)の設置、セキュリティ教育の充実、インシデント対応体制の維持向上
- 女性研究者研究支援員制度、学内保育施設の開設、障がい者差別解消やハラスメント防止に関する研修の実施

◆ 戦略的な法人経営の展開

- ・中期計画の達成に向けた重点的な取組の推進や、次期中期計画の策定に向けた検討に当たり、経営トップ層の意向を反映するなど、**トップマネジメントを強化(4-01)**
- ・大学院入試問題漏えい等の事故を受け、令和元(2019)年度に取りまとめた**再発防止の取組を確実に遵守(4-01)** **対応報告事項** **評価結果反映事項**
- ・都の戦略的シンクタンクとしての機能を発揮するため、グローバル社会における共通課題である「持続可能性」に関する調査・研究機能を強化(4-01-2)
- ・「TMU Vision 2030」等の**各大学・高専の将来構想に基づいた、教学マネジメントを推進**、それらの取組を**法人として一層の支援(4-02)**
- ・既存の連携事業を着実に実施するとともに、教職員間の情報共有・交流機会を強化することにより2大学1高専の連携体制を構築し、より効果的・効率的な連携を推進(4-12) **対応報告事項**

◆ 業務運営の改善、財務・施設基盤の整備

- ・「東京都公立大学法人働き方改革推進計画」に基づき、業務の見直し、各種制度の検討・構築(文書事務や旅費制度の運用の見直し等)、システム化の推進(事務用端末のモバイル化等)(4-13)
- ・令和4(2022)年度の**旅費システム導入に向けたシステム構築**、文書管理システム導入に向けた業務見直しやシステム設計のための調査・分析(4-14)
- ・寄附目的の明確化や、寄附金受付システムの改善など、**卒業生をはじめとした多くの人が支援しやすい環境を整備(4-16)** **対応報告事項**
- ・都立大のキャンパスランドデザインに基づきキャンパスの環境改善に着手、令和5(2023)年度からの**日野キャンパス新棟の供用開始に向けた工事(4-24)**



【職員作成の働き方改革推進関連動画】



【都立大寄附者銘板】



【都立大WEBマガジン】

◆ 情報発信等の強化

- ・令和2(2020)年度の専門家による分析等を踏まえた**ターゲット別等の戦略的な広報**、都立大における**WEBマガジンの本格稼働**や**令和4(2022)年度の大学案内及び総合ホームページの一体化したリニューアル**に向けた準備など、法人・各校による戦略的かつ効果的な情報発信(4-23)
- ・**卒業生・同窓会等との連携強化策**を検討・実施し、愛校心を醸成(4-23-2) **対応報告事項**

◆ 法令遵守等の取組

- ・省エネ対策を推進することなどにより、持続可能な都市の実現に向けた取組を実施(4-27)
- ・教職員等を対象にeラーニング等による**研究コンプライアンス研修**を実施(4-30)
- ・**情報セキュリティポリシーの遵守徹底に向けた取組**、教職員の**セキュリティ意識及びリテラシーの向上**、働き方改革に資するシステム環境整備(4-31) **対応報告事項** **評価結果反映事項**

戦略的な法人経営を支える基盤強化

認知度・ブランド力の向上

【第3期KPI】

★TOEICスコア600点以上

全職員の25%以上

★コンプライアンス研修受講率

100%

将来構想等に基づく教学マネジメント強化

卒業生等と構成員の一体感の醸成

2大学1高専の連携の促進

社会的責任を果たすための体制強化

第三期の方向性